

グローバル・アグリカルチャー＆フード株式ファンド

設 定 日 : 2022年7月29日

償 還 日 : 無期限

決 算 日 : 原則、毎年7月26日

収 益 分 配 : 決算日毎

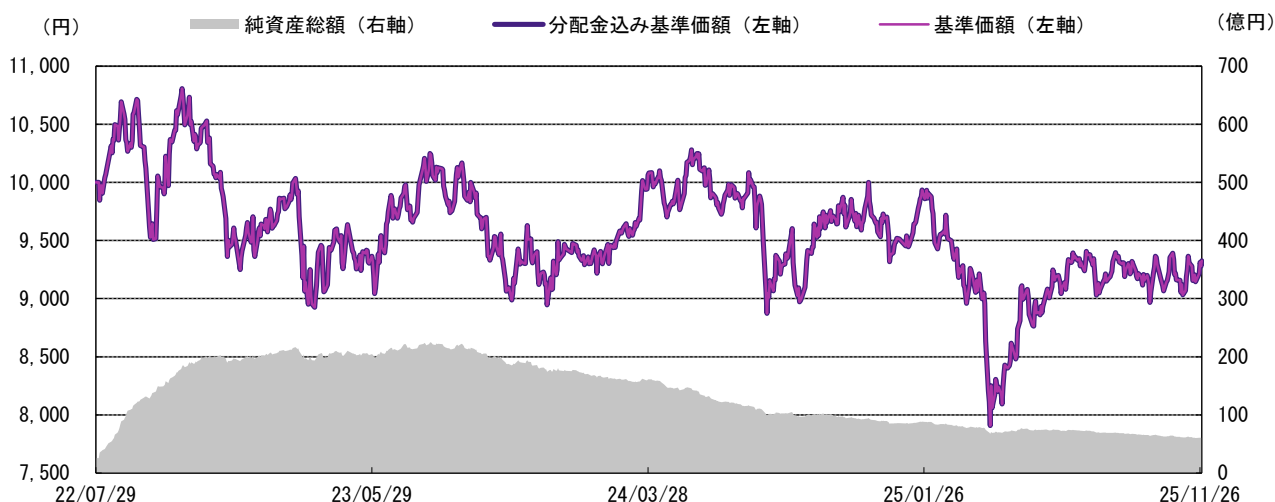
基 準 価 額 : 9,325円

純 資 産 総 額 : 60.62億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運 用 実 績

<基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比>

株式		95.6%
	うち先物	0.0%
現金その他		4.4%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。
 ※「株式」には、不動産投資信託証券、預託証券などの数値を含めて表示しています。

<分配金実績（税引前）>

分配金合計	23・7・26	24・7・26	25・7・28		
0円	0円	0円	0円		

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
1.80%	0.10%	5.06%	-4.03%	-9.90%	-6.75%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	9,160円
要 株式	54円
為替など	127円
因 分配金・その他	-16円
当月末基準価額	9,325円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額の変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<通貨別組入上位10通貨>

通貨	比率
アメリカドル	48.8%
日本円	8.7%
カナダドル	8.3%
中国元	7.9%
ユーロ	5.9%
香港ドル	4.8%
サウジアラビアリアル	3.4%
ノルウェークローネ	3.3%
ブラジルリアル	1.7%
イギリスポンド	1.5%

<国・地域別組入上位10カ国>

国・地域名	比率
アメリカ	44.3%
日本	8.7%
カナダ	8.3%
中国	7.9%
ケイマン諸島	4.8%
サウジアラビア	3.4%
ノルウェー	3.3%
オランダ	3.2%
ドイツ	3.1%
スイス	2.4%

<業種別組入上位10業種>

業種	比率
食品・飲料・タバコ	38.9%
素材	29.6%
資本財	21.0%
医薬品・バイオテクノロジー	3.5%
ヘルスケア機器・サービス	1.7%
商業・専門サービス	1.1%
生活必需品流通・小売り	0.8%

<組入上位10銘柄>（銘柄数：42銘柄）

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	CORTEVA INC	アメリカドル	アメリカ	素材	9.3%
2	NUTRIEN LTD	カナダドル	カナダ	素材	6.5%
3	CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	アメリカドル	アメリカ	素材	5.3%
4	日本ハム	日本円	日本	食品・飲料・タバコ	4.9%
5	WH GROUP LTD	香港ドル	ケイマン諸島	食品・飲料・タバコ	4.8%
6	INGREDION INC	アメリカドル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	4.3%
7	DARLING INGREDIENTS INC	アメリカドル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	3.8%
8	VALMONT INDUSTRIES	アメリカドル	アメリカ	資本財	3.7%
9	ZOETIS INC	アメリカドル	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.5%
10	MOWI ASA	ノルウェークローネ	ノルウェー	食品・飲料・タバコ	3.3%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、前月末比で概ね横ばいでした。上旬から中旬にかけては、米国連邦準備制度理事会（F R B）による今後の追加利下げペースが鈍化するとの見方などから米国株の割高感が意識され、株価は下落しました。月末にかけては、利下げ期待が再燃し、ハイテク株を中心に株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて概して上昇しました。上旬から中旬にかけては、米国と同様にF R Bによる追加利下げペースの鈍化観測が強まったことなどから、株価は概して下落しました。一方で下旬は、F R Bによる利下げ期待が高まったことや、英国の財政悪化懸念が和らいだことなどから、株価は総じて上昇しました。

11月の国内株式市場は、東証株価指数（T O P I X）が前月末比プラス1.40%となりました。A I（人工知能）関連銘柄の急上昇に対する警戒感や、首相の台湾有事を巡る発言を受けた日本と中国の緊張感の高まりなどが株価の重しとなった一方で、月末にかけては、F R Bの追加利下げ観測から米国株式市場が上昇に転じたことなどから国内株式市場も上昇しました。

◎運用概況

11月のグローバル株式市場は全体として強弱入り混じった展開となりました。米国ではF R Bによる利下げへの期待がある一方で、A I 関連企業への様々な懸念は重石となりました。

穀物価格は品目ごとに異なる展開となりました。大豆は中国による米国産大豆の購入期待などを背景に年初来高値を大きく上回りましたが、その後は利益確定の売りに押される展開となりました。小麦は月前半に4ヶ月ぶりの高値を付けたものの、主要生産国で深刻な不作はなく、世界的な供給が安定していることが価格の重石となり反落しました。トウモロコシは月半ばに1ヶ月ぶりの安値を付けましたが、輸出需要の持ち直しなどを背景に値を戻しました。

農業関連企業の株価については、「フード・エボリューション」はマイナス寄与となったものの、「農業イノベーション」および「再生力のある経済」はプラス寄与となりました。

◎今後の見通し

5年程度の期間でみると農産物価格は上昇しており農家の収益増が期待されましたが、その恩恵が農業機械の新規購入に結び付くには時間がかかるとみられ、農業機械メーカーにとっては厳しい状況が続くことが予想されます。市場の関心は、農業機械需要がいつ底を打ち、回復サイクルに入るかです。ドイツで開催された「農業機械見本市」では、A I や自律走行などの先端技術に注目が集まりました。新しい技術の導入が、人手不足解消や生産性向上を目指すなかで、設備投資増の成長ドライバーとなることが期待されます。

当戦略にとっては依然として短期的に不安定な状況が続くことが予想されますが、農業と食料関連株式に対する長期的な見通しは明るいとの見方に変わりはありません。増加する人口に食料を供給するための解決策が必要であり、政府や企業、消費者の意識が高まるなか、益々重要な課題になると考えます。農業・食料システムの改善に向けた我々の見方に変わりはなく、農業の重要性を考えれば、農業・食料分野におけるイノベーションは続くものと期待しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入を保証するものでもありません。
 ※記載の内容は、ラザード社等による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
 ※「投資カテゴリー別比率」及び「規模別構成比率」の比率は、組入有価証券評価額の合計を100%として計算したものです。

＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

1 CORTEVA INC / コルテバ	農業イノベーション
コルテバは農産物会社。種子、作物保護製品のほか、ソフトウェアソリューション、デジタルサービスを提供する。世界各地で事業を展開。	
2 NUTRIEN LTD / ニュートリエン	農業イノベーション
ニュートリエンは肥料メーカー。農作物用肥料およびサービスを提供。農業・工業・飼料業者向けにカリ・窒素・リン酸塩製品の製造および販売を手掛ける。世界各地の農業向けに事業を展開。	
3 CF INDUSTRIES HOLDINGS INC / CFインダストリーズ・ホールディングス	農業イノベーション
CFインダストリーズ・ホールディングスは肥料メーカー。窒素肥料やリン酸塩肥料を製造し、世界的に販売する。アンモニア、尿素、尿素硝酸アンモニア、硝酸アンモニア、ディーゼル排気液、アンモニア水を製造。	
4 日本ハム	フード・エボリューション
日本ハムは食肉加工における日本国内トップメーカー。養豚からハム・ソーセージ加工までを一貫して行う。協力的販売網と商品開発力に定評があり、海外にも拠点を置く。	
5 WH GROUP LTD / WHグループ	フード・エボリューション
WHグループは子会社を通じて食肉加工サービスや、冷蔵肉・肉製品・その他関連製品を提供する世界最大級の豚肉食品会社。北米、中国、欧州で事業を展開。	
6 INGREDION INC / イングレディオン	フード・エボリューション
イングレディオンは甘味料、でんぷん、栄養成分、バイオ素材などを製造する原料メーカー。世界約120カ国以上に顧客を有し、同社の製造する原料は食品や飲料から、製紙、医薬品など、日常生活に使用される様々な製品に活用されている。	
7 DARLING INGREDIENTS INC / ダーリン・イングレディエンツ	再生力のある経済
ダーリン・イングレディエンツは、家畜処理時にできる副産物やレストランの調理油の再生利用に従事。レストランを対象に、油の過・回収サービスを提供するほか、これらを加工処理して、獣脂、肉骨粉、飼料用油脂などの製品として米国及び海外で販売する。	
8 VALMONT INDUSTRIES / バルモント・インダストリーズ	農業イノベーション
バルモント・インダストリーズはインフラや農業設備向けの製品とサービスを提供する企業。農業事業では「Valley」のブランド名で灌漑設備と関連サービス部品等を提供するほか、精密農業向けの技術ソリューション等を提供。	
9 ZOETIS INC / ゾエティス	農業イノベーション
ゾエティスは動物用医薬品メーカー。家畜・ペット用の医薬品およびワクチンを発見、開発、製造、商品化する。北米、欧州、アフリカ、アジアおよび中南米で製品を販売。	
10 MOWI ASA / モウイ	フード・エボリューション
モウイは水産会社。世界の70以上の市場を対象に、持続可能な方法で養殖された鮭のほか、加工海産食品を供給する。主要な全地域で事業を展開。	

＜投資カテゴリー別比率＞

投資カテゴリー	比率
農業イノベーション	48.0%
フード・エボリューション	47.3%
再生力のある経済	4.7%

※「投資カテゴリー」はラザード社が考える分類です。
 ※今後変更となる場合があります。

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	9.1%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	47.8%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	34.9%
小型株（20億米ドル未満）	8.3%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色

1

主に、世界の上場株式の中から、農業(アグリカルチャー)や食料(フード)などに関連するビジネスを行なう企業の株式*に投資します。

*預託証券を含みます。

- 農業や食料などに関連するビジネスを行なう企業には、温暖化や食料難などの課題解決に資する技術、製品を提供する企業を含みます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2

銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

- 株式運用に強みを持つ米国の資産運用会社、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(ラザード社)が、マザーファンドの運用を行ないます。

3

年1回、決算を行ないます。

- 毎年7月26日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
- ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2022年7月29日設定）
決算日	毎年7月26日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内

※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用（信託報酬） ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.8205%（税抜1.655%）

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標準使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などが、その都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。
また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.amova-am.com 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・アグリカルチャー＆フード株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。